

## 4月『令和7年度定期総会・懇親会』

4月23日(水)、加藤会頭様・岡田専務理事様をご来賓にお迎えし、令和7年度定期総会ならびに懇親会がシャインズ3階ホールにて開かれました。

総会の議事等は滞りなく進み、本年度は40周年記念事業実行委員会も承認されました。野々山前会長よりお礼のごあいさつ、続いて鈴木新会長より1年間の抱負が述べられ、また一段と新たな女性会への船出となりました。

加藤会頭様からは女性会の社会貢献と活動に対してお褒めのお言葉を、岡田専務理事様からは女性会への期待のお言葉を頂戴し、より一層身の引き締まる思いがいたしました。

その後、懇親会に移り、大変美味しいお料理に舌鼓を打ちながら和やかな雰囲気に入れ、とても有意義な1日を過ごすことができました。

社会奉仕・広報委員長 岡本 美保子



## 5月例会『消防機関の見識を広げる』



5月23日(金)、会員22名で刈谷消防署を訪問しました。3名の消防士さんが笑顔で出迎えてくださいました。

身近に起こる火災原因の映像・天ぷら火災の消火実験・訓練の様子・救急車・消防車・レスキュー車などを見せていただき、詳しく説明をしてくださいました。救急車の出動は、昨年1年間に刈谷市内だけで7000件とお聞きし、とても驚きました。

見学中にも救急車出動のアナウンスが2回あり、消防士さんが素早く救急車に乗り込み出動していく様子を目の当たりにしました。地域住民を守ってくれる勇士ですね。

また、食堂・浴室・仮眠室なども案内してくださいました。食事は毎日消防士さんたちが交代で調理しているとのことで、驚きました。

24時間、寝食を共にし結束力を高め、24時間体制で私たち住民を守ってくださる消防士さんに感謝すると共に、火の用心・車の安全運転に心がけなくては！

“消防士さん、ありがとうございます！”

社会奉仕・広報委員 榊原 美芳子



刈谷商工会議所女性会は、現在事業経営に携わっている女性、そして将来経営に参加しようと考えている女性の集まりです。

会員相互の親睦を図りながら、女性ならではの感性を活かし、見聞を広め、実行力を身につけるために、研究会や講演会などを企画し、楽しく活動しています。

刈谷商工会議所会員事業所に在る女性ならば、どなたでも入会できます。尚会費は1ヶ月2,000円です。詳しくお話を聞かれない方は、刈谷商工会議所内 女性会事務局 (TEL21-0370) までお問い合わせ下さい。

## 6月例会『逆境を超えた先に見えた景色』

6月12日(木)、刈谷商工会議所大ホールにて6月例会が開催されました。全国で講演活動や歌のライブを行い、2000年から現在までに延べ12万人を超える聴衆に勇気と感動を届けてこられている“古市 佳央”氏をお迎えいたしました。

どんなお話が…とわくわくしながら、前列にて集中して拝聴しました。古市氏は16歳の時、バイク事故により全身41%以上にやけどを負い、顔や手に大きな損傷を残されました。しかし、そこから言葉では言い尽くせないほどの努力を重ね、絶望から這い上がってこられたという、心に響く素晴らしいお話でした。支えてくれた医師、病院関係者、ご家族（特に祖母）、かづきれいこ氏（フェイシャルセラピスト、リハビリメイクの第一人者）、皆さんに救われたこと。人は絶望から必ず希望を見つけ、世界一幸せになれること。人に優しく、感謝を忘れず、恩をお返しされている方だと感じました。

素晴らしい例会を企画していただいた企画・交流委員会の皆様に感謝いたします。ありがとうございました。  
社会奉仕・広報委員 八幡 恵美子



## 7月例会『大阪・関西万博視察』



7月8日(火)、大阪・関西万博へ会員13名で行って参りました。

朝7時に出発し、途中、土山サービスエリアでご用意いただいた軽食をいただき、予定通り11時30分に会場へ到着しました。万博内では、事前に予約していただきましたフランス館、日本館を見学しました。

フランス館では、在日フランス商工会議所の職員の方が詳しく館内を解説くださるという、とても貴重な機会をいただき、テーマ「愛」の意味を深く知ることができました。また、フランスから運ばれ中庭に植えられた「樹齢1,000年を超えるオリーブの木」に直接触れ、力強い生命力を感じました。

日本館では「いのちといのちのあいだに」をテーマに、館内ではスピルリナ（藻類）が育てられており、とても幻想的な美しさに魅了されました。また、開催国としての「おもてなしの心」を随所に感じられ、改めて日本の素晴らしさを想いました。

16時には会場を後にしました。暑い時期ではありましたが、企画・準備してくださいました皆さま、添乗員さまのおかげで、体調を崩される方もなく、有意義な一日を皆さまと過ごすことができましたことに感謝申し上げます。  
社会奉仕・広報委員 奥村 琢

## 9月例会『東京フィルハーモニー交響楽団刈谷公演 鑑賞』

9月28日(日)、刈谷市総合文化センターアイリスホールにて、刈谷市制施行75周年記念『東京フィルハーモニー交響楽団刈谷公演』が開催されました。

指揮の田中祐子氏は、名古屋市出身であり、東京藝術大学院 指揮科修士課程主席修了、五島記念文化省オペラ新人賞を受賞され、NHK交響楽団をはじめ全国各地のオーケストラとご共演をされている素晴らしい指揮者です。また、日本で最も長い歴史をもつオーケストラである、東京フィルハーモニー交響楽団のコンサートマスターを務める近藤薫氏は、刈谷市出身というご縁があり公演が開催されました。

チャイコフスキー歌劇『エフゲニー・オネーギン』より「ポロネーズ」の演奏から始まり、「白鳥の湖」より次々に流れる音楽。決して大きな身体ではないけれど、あの流れるような背中がとても大きく見え、私自身も一緒に演奏させていただいているような世界に入り込んでしまうくらい、素敵な演奏でした。

そして、最後の刈谷市内中学校オーケストラ部吹奏楽部員との合同演奏は、学生の皆様には一生の思い出になったことでしょう。音楽の魅力を実感されたのではないのでしょうか。

素敵な公演を開催していただき、ありがとうございました。  
社会奉仕・広報委員 和田 典子

